

岩国航空博物館 施設提案書

平成30年6月19日

岩国市議会

地方創生総合戦略調査特別委員会

1 目的

岩国飛行場は、旧日本海軍の航空基地として建設され、第二次世界大戦前から零式艦上戦闘機（ゼロ戦）を初めとする日本の航空機技術や歴史に深くかかわりがあります。

戦後は、米海兵隊による接收、連合軍の駐留から現在の米海兵隊等の使用となったほか、海上自衛隊による一部共同使用、さらには岩国錦帯橋空港の開港など、さまざまな航空機により、本市の空の歴史が形づくられてまいりました。

こうした岩国飛行場にかかわった航空機やその歴史を広く紹介することにより、日米友好親善はもちろん、岩国を世界に知っていただくことを目的とします。



※基地といわくに（平成26年版）より

2 施設の名称

岩国航空博物館とする。（英語表記：Iwakuni Aviation Museum）

3 施設の概要

(1) 戦前の旧日本海軍を象徴する航空機の展示

- ① ゼロ戦…映画「零戦燃ゆ」で使用されたもの（岩国飛行場内にあり）
- ② ゼロ戦…スミソニアン航空博物館（米国）が所蔵するもの（借用または譲渡）
- ③ 紫電改…愛宕山地域開発事業跡地の特殊地下壕で開発されていたもの（現在の新明和工業株の前身である川西航空機が開発）



※愛媛県南宇和郡愛南町「南レク南宇和展示館」に保存されている「紫電改」の映像より

- (2) 米軍の最新鋭戦闘機F-35BまたはFA-18スーパーホーネットのレプリカの展示
- (3) 海上自衛隊所属のUS-1（退役した機体）の展示（機体の大きさから、屋外展示を想定）



※基地といわくに（平成26年版）より

- (4) 戦闘機やヘリコプター等のシミュレーション操作室（航空機に乗ってあたかも世界中を旅行しているような映像の放映）の設置
- (5) 岩国飛行場の歴史シアター施設の設置
- (6) 解説つきの写真などによる岩国飛行場・岩国錦帯橋空港の紹介
- (7) 屋上からの展望スポットの設置

(8) 岩国ブランド特産品の販売



※岩国ブランド推進基本方針（平成29年3月策定）より

- (9) レストラン（飛行艇寿司、飛行艇ラーメン、飛行艇カレーなど）、レストハウスの併設
- (10) 航空力学や揚力を理解できるような科学体験実習コーナーや、体験アトラクション（室内スカイダイビング）の設置
- (11) 日米交流の歴史や、ジョー・ディマジオ、マリリン・モンロー、ヘレン・ケラー等、岩国飛行場ゆかりの人物の写真パネルの設置

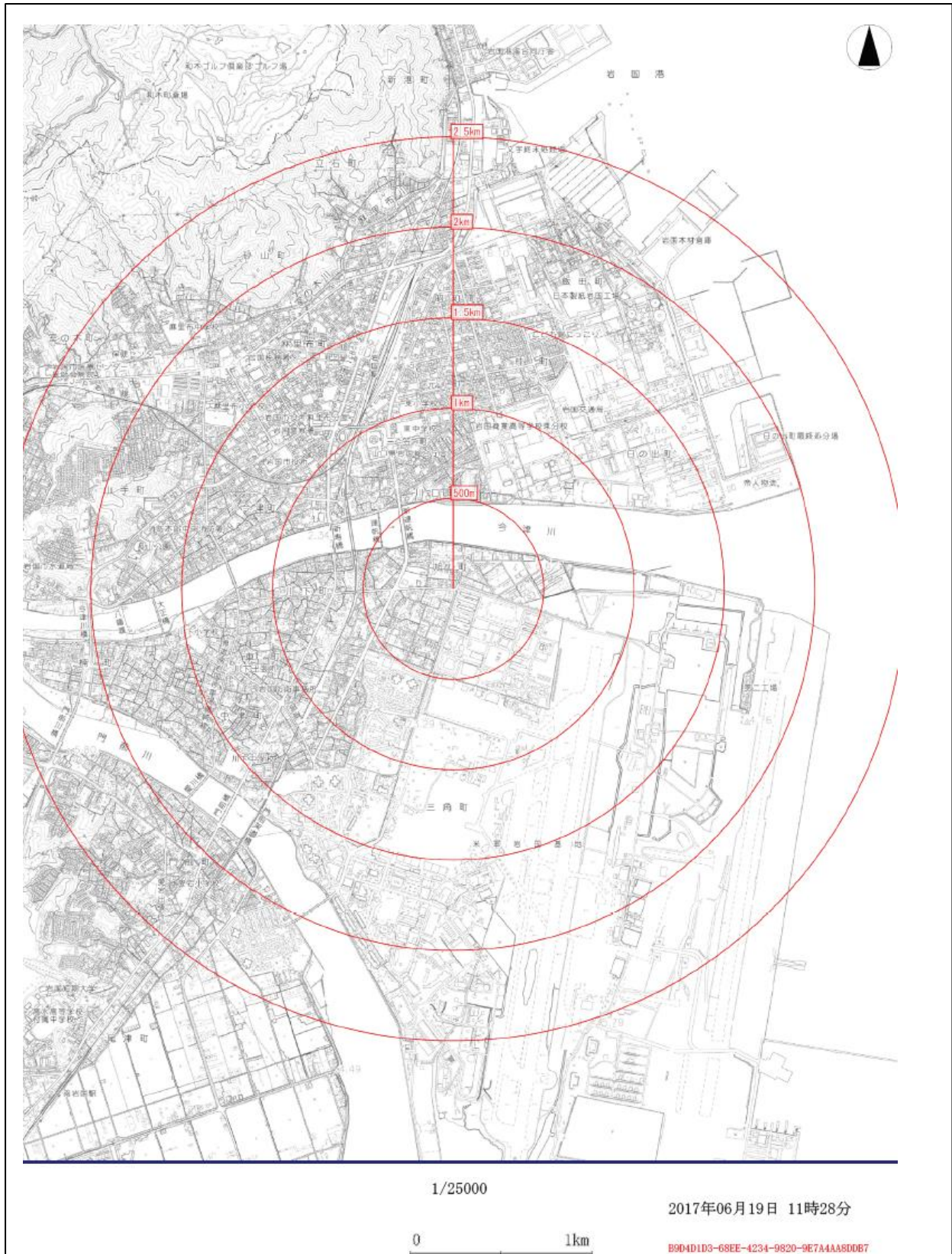
4 施設の規模

- (1) 敷地面積 15,000 m²以上
- (2) 建築面積 5,000 m²以上
(延べ床面積は8,000 m²以上)
- (3) 駐車場及び屋外展示場等 10,000 m²以上
(乗用車100台・大型バス10台)

※岩国ブランド特産品販売やレストハウス(軽食・喫茶)は、建物内に設置する。

5 施設の所在地

飛行場から飛び立つ機体を観賞することができる場所とするため、岩国錦帯橋空港から2 km 圏内とする。



6 建設及び運営の主体

国において建設及び運営をされるよう要望する。